

会長挨拶

佐藤修朗 会長



皆様、こんにちは。本日はメーキャップで郡山北RCから吉田喜一様、佐藤和夫様がいらっしゃっています。JTBの堀内さんに今日卓話をして頂きますが、転勤の辞令がおりたということでお饞別をお渡しします。

本日は1年前の6時32分に、駅前交番前で大阪から来ていた女子学生が飲酒運転によって死亡するという痛ましい事故が起きた日です。阿部充宏さんと私は交通安全の役を頂いているので、黙祷と献花をやってきました。報道もいっぱい来ていましたが、お母様、お爺様、ご兄弟で献花し悼んでいらっしゃいました。今日、私は初めて気がつきましたが、交番前の樹木の所にお花をお供えできるようなものが出来ており、郡山市民としても非常に残念だという思いはこれからも続いていくと思えますので、やはりRCとしても交通安全に何が出来るのかなということを考え続けていきたいと思えます。

郡山北RC

吉田喜一氏



7月から中央分区のガバナー補佐を務めることとなります。就任する前に中央分区9クラブを回って、皆様にご挨拶をしたいと思参りました。あと半年後、皆様に大変お世話になろうかと思えます。宜しくお祈りします。

郡山北RC

佐藤和夫氏



早川直前ガバナーについて1年間地区幹事として務めさせて頂き、その時は郡山RCにもお邪魔し、ご指導頂きました。今は郡山北RCで広報委員をやらせて頂いています。またご指導を宜しくお祈り致します。

退会会員挨拶

(株)JTB福島支店 支店長 堀内紀孝君



今日は卓話で「自己紹介」という時間を頂いていましたが、自己紹介の場が退任のご挨拶になってしまいました。1年3カ月ぐらいでしたが大変お世話になりました。

幹事報告

幕田宙晃 幹事



皆さんのテーブルに例会変更のお知らせがあります。当クラブ、来週29日は「おおまちてらす」にて例会を開催します。宜しくお祈り致します。

親睦活動委員会報告

幕田宙晃 幹事

春の親睦旅行のご案内を皆様に流しております。飛行機の関係もありますので、一次締切を1月29日にさせて頂いております。多くの皆さんにご参加頂ければと思います。

職業奉仕委員会報告

佐藤 聡 委員長



来週29日の例会は、「おおまちてらす」の職場訪問となります。12時半から例会を開催します。現地に直接

集合をお願いします。1階に誘導員がおりますので、駐車はそちらに従って停めて下さい。14時ぐらいの終了を予定しております。

雑誌委員会報告 佐藤政弘 委員長



「ロータリーの友」1月号を紹介いたします。

横組	2頁	RI 会長メッセージ
	5頁	日本が誇る工芸技術はいま
	12頁	ロータリー談義 後編
	18頁	ワークウェア例会で仲間の仕事をもっと身近に
	20頁	大阪・関西万博テーマウィーク
縦組	2頁	寄り添いの経営
	18頁	ロータリーあるある相談室

ニコニコBOX委員会報告

阿部充正 副委員長



◎お世話になります。 郡山北RC 吉田喜一君

◎郡山北クラブから吉田様、佐藤様、メーキャップありがとうございました。JTB 堀内支店長、卓話ありがとうございます。

佐藤修朗君

◎本日もお忙しい中、多くのメンバーにご参加頂きありがとうございます。堀内さんの卓話、楽しみにしております。新天地でも頑張ってください！北クラブの吉田さん、佐藤さんを歓迎して！

幕田宙晃君

◎堀内支店長には、先日の尚志サッカー部の準決勝では大変お世話になりました。ご栄転されるということで残念ですが、本日の卓話宜しくお願い致します。

伊野泰司君

◎JTB 堀内支店長、本日の卓話楽しみにしています。

高橋裕一君、前田泰彦君

◎本日も楽しい一日を！

高橋孝行君

◎今日も元気で出席です。

林 誠君

プログラム紹介 平栗俊昭 委員長



本日は(株)JTB 福島支店支店長の堀内紀孝さんより、自己紹介と自社紹介と退会のご挨拶も含めて頂くようになりましたので、どうぞ宜しくお願い致します。

会員卓話

「自己紹介」

(株)JTB福島支店 支店長 堀内紀孝君

生年月日は1968年11月11日です。57歳になりました。出身地は秋田県秋田市です。趣味はサッカー、野球、スポーツ観戦で、特技は強いと言えばスキーです。1992年にJTBに入社し、最初は山形県の酒田支店で10年間、その後は仙台、盛岡、奥州、また盛岡に戻り、東京、仙台、縁があって2023年12月に郡山に着任して福島支店長として2年2カ月で今に至っています。郡山RCには2024年10月に加入させて頂きました。

弊社の経営理念は「地球を舞台に、人々の交流を創造し、平和で心豊かな社会の実現に貢献する」です。旅行を中心に色んな人々の活発な交流を創り上げて、観光業を通じて平和な世の中を創っていきたいという

考え方です。基本的には弊社は旅行業ですが、社内では交流創造事業と呼んでいますが、人流とか地域とか組織とか、そういうエリアで連携をしながら人々の交流を創り出しながら地域の活性化に貢献したいというような観点です。三つの戦略があり、ツーリズム事業戦略。これは主たるお客様は旅行に行かれるお客様です。エリアソリューション事業というのは、主たるお客様は地域、エリア、行政、観光事業者というところになります。連携しながらエリアの交流を活発にし、関係人口や交流人口を拡大するということを目的に事業戦略の柱にしております。ビジネスソリューションは、一般企業のお客様の課題を解決するような商品やシステムを構築して販売していることから、これも戦略の一つにしています。JTBは110年ぐらいの歴史がありますが、そこで培ってきた専門性を強みにしており、その間多くの取引先やお客様とも繋がりを持って来ました。個人のお客様が約2,000万人、学校教育機関が約15,000、企業のお客様が約44,000、行政・自治体関連は約3,600の組織と取引や連携をしています。JTBのネットワークとしては店舗数が国内で354、海外は159、内外にグループ会社が30ぐらいあります。福島には郡山・福島・いわきの拠点3つでJTB福島支店として活動しています。



旅行も目的に応じて色々なタイプの旅行があります。1つ目は社員旅行です。社員旅行は過去長い間、観光名所を巡る、食べたいものを食べる、泊まりたいところに泊まるというニーズが主流でしたが、段々考え方や環境が変わって来て、今は曲がり角に来ております。どちらかと言えば、そこに行って何が得られるのかとか、どんな価値があるのかとか、お客様のニーズや趣向が高まってきて、それに対してしっかり応えないと社員旅行はやりづらいという声が少なくないです。次に報奨旅行、取引先のご招待旅行です。

旅行以外ではミーティング、イベント、マイルです。学会、スポーツ大会など旅行会社として交通輸送や宿泊、お食事、観光旅行とか、長年ずっと取扱っていますが、そういう中でJTBに対する役割をどんどん変わって来ています。例えば大会や学会、運営そのものを請け負ったり、事務局を担ったり、イベント会社のような取り組みを積極的にやっています。マイルで領域を広げた経験が活かされたこともあり、コロナの頃には旅行はゼロになってしまい、会社の存続が危なかったということがありました。ワクチン接種がマイルと親和性がありまして、1人のお客様がワクチンを打つエントリーをして案内を受けてワクチン接種、精算、そういう一気通貫の仕事をマイルで弊社が経験していたことによって、当時自治体からコロナワクチン接種の事務局を受けて欲しいというオーダーが入り、それで何とか会社が持ちこたえたということがありました。他にも周年イベントサポート、表彰式、株主総会など旅行以外の領域を広げています。総務系ソリューションという領域では永年勤続に対するサービスです。永年勤続を迎える方々にプレゼントをする商品を弊社で

作り購入して頂いたり、ポイント交換型ギフトもご案内しています。BTMは出張や交通の手配をサービスするビジネスです。航空券・JR券・ホテルの予約や手配を全部処理するシステムを作り、丸ごと企業に買って頂くということもやっています。

JTB福島支店では地域活性化について色々なことを取り組んでいます。まずは震災からの復興です。福島の良き未来を創造しながら、福島の地域に密着した活動を続けています。特に浜通りが抱えている様々な課題の解決に向かいながら、それをビジネスにさせて頂いています。風評・風化への対応ですが、海外を中心にまだまだ福島に対するネガティブなイメージが消えていません。弊社の海外のネットワークを通じて海外でお付き合いのあるお客様に風評を払拭するようなプロモーションを行っています。来訪者の課題としては、コロナ前を100%とすると福島に来て頂けるお客様の数は80%ぐらいですが、これは47都道府県で最下位です。そこに対する課題解決としては、充実した宿泊プランを福島支店で作ったり、福島に来たくなるような旅行商品を作ってウェブ上で展開したりしています。国際的研究機関が浪江に設置されておりますが、3~5年後には外国人の研究者がどっと浜通りにいらっしやると聞いています。そこに対する生活支援を県と連携して弊社でお手伝いを始めています。あとはJヴィレッジを起点としたスポーツ中心の地域活性化ということで、弊社も連携をしています。11月にデフリンピックサッカーがJヴィレッジで行われ、男子・女子合わせて20カ国の代表が福島にやって来ました。各国からの飛行機やホテルを手配したり、色々な形のトータルコーディネートをJTB福島支店で請け負いました。福島の課題もある一方でポテンシャルもありますから、そういったところを活かしながら交流人口の拡大、関係人口の拡大、ここに一生懸命取り組んでいます。

福島DCが4~6月に本番を迎えます。日本国内で行われる観光キャンペーンとしては間違いなく一番大きく、地元の期待度が大きくて、弊社も旅行商品を作って側面から準備をさせて頂いています。弊社も「日本の旬」という東北に重点を置いたキャンペーンを同時期に行います。是非、官民の力でこのDCを成功させることができればと思います。大ゴッホ展が2月21日に始まります。JTBとしても成功の為に色々な手を尽くしながら全力で取り組んでいるところです。

退任のご挨拶を兼ねることになってしまいましたが、歴史と伝統のある郡山RCに入会させて頂いて本当に嬉しく思います。郡山RCの益々の発展と、会員の皆様の今後の更なるご活躍を心から祈念して以上とさせて頂きます。

出席報告

丸山 弘 委員長



総員 / 108名 出席 / 55名 欠席 / 53名
出席率 / 50.93% 前回修正率 / 53.46%
他クラブ出席 / 2名

株式会社 ケイビ

専務取締役 大山 勇起

〒963-0201 郡山市大槻町菅田 59-1
TEL 024-962-7831 FAX 024-962-7838

久保田 毘沙門天 祭礼2月11日 真言宗室生寺派 無量山 阿弥陀寺

〒963-8071 郡山市富久山町久保田 52
TEL 024-922-7275 FAX 024-922-8169
<https://www.koriyama-amidaji.jp/>

国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長: 佐藤 修朗 幹事: 幕田 宙晃
例会場: 郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111
例会日: 木曜日
事務所: 〒963-8001 郡山市大町 1-2-17 大一ビル 1階
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678
郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから
<http://k-rc.main.jp/>



次回 第28回例会
令和8年2月5日木
会員卓話

「職業奉仕 私の思い」

(株)ケイビ 専務取締役 大山勇起君

編集責任者: 幕田 宙晃
副委員長: 大谷 宏明

編集: クラブ会報委員会 委員長: 酒井 良胤
委員: 綾 哲志・伊藤 基文・八角 洋



FSC® 森林認証紙使用